



文理大 対面講義を開始 1年の必修科目一部

【大分】大分市の日本文
理大は15日、1年生を対象
とした必修科目の一部で対
面講義を始めた。新型コロナ
ウイルス感染予防のため、
全学年の講義はビデオ

会議アプリなどを使った遠
隔で実施しているが、まだ
登校機会のない新生生の不
安軽減を目的に先行して再
開した。
必修科目は「社会参画入

門」。約550人の1年生
が「3密」を避けるため、
広い教室に変え、時間帯も
分散して受講した。

機械電気工学科の若林大
輔准教授のクラスは、ビデ
オ会議アプリでまだ通学で
きない留学生らも参加し、
教室の学生と一緒に講義を
受けた。

同大では5月7日から遠
隔講義を実施。今月11日
から学内でしかできない
実習や演習などに限って対
面での講義を再開してい
る。

この日の講義について、
1年の松田大輝さん(18)は
「遠隔講義はパソコンの扱
いに慣れず、課題がちゃん
と提出できているか不安だ
った。家で受けるより集中
できた」と感想。永田陸也
さん(18)は「程よい緊張感
があった。早く全科目を対
面で受けたい」、宮子将徳
さん(18)は「大学の雰囲気
にも慣れたい」と話した。
同大によると、今後の講
義の仕方は今月中に決める
という。

(玉井美智子)

1年生を対象に始まった対
面講義。通学できない学生
もビデオ会議アプリで受講
した15日、大分市の日本
文理大